

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイビーキッズ南と野			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数)	34人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～	2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりに寄り添う丁寧な個別療育と園連携	お子様の状態や発達段階に合わせて柔軟に計画・プログラムを調整し、寄り添った質の高い個別支援を提供しています。 保育所や幼稚園等への積極的な園訪問や徒歩送迎を通じたコンスタントな情報共有を行い、集団生活での様子も把握しながら連携を図っています。 職員が温かく親身に対応することで、お子様が笑顔で安心して過ごせる環境を作っています。	成長の過程や具体的変化を保護者様とより分かりやすく実感・確認し合えるアプローチや面談方法を工夫してまいります。 園や関係機関との密接な連携を継続し、地域社会での関わりや円滑な移行支援を推し進めます。
2	個別支援計画に基づく適切なアセスメントと高い満足度・相談体制	児童発達支援管理責任者および支援スタッフが客観的な分析を行い、適切な児童発達支援計画を作成・説明しています。 保護者様からのご意見や相談に対して迅速かつ真摯に対応し、信頼関係の構築に努めています。	いただいたご相談やお申し入れに対し、より迅速で柔軟な対応ができる体制を維持・発展させます。 応答に時間を要する場合は、理由や見通しを前もって丁寧に説明する姿勢を徹底いたします。
3	ヒヤリハット共有と安全配慮・マニュアルに基づく安心できる支援環境	ヒヤリハットの共有や再発防止検討を日常的に行い、事故防止マニュアルや避難訓練・安全計画等に基づいた安全管理を行っています。 万一の事故や怪我の際にも、速やかな連絡と具体的な状況報告を徹底しています。	事故防止に全力を尽くすとともに、発生時には保護者様の不安を最小限に抑えられるよう、全スタッフで迅速かつ丁寧な対応を継続徹底いたします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内の広さ・照明やエントランス構造等の環境面（スペースとバリアフリー）の制約	利用時（特に3名利用時）に室内スペースの狭さを感じる場面があり、机上作業時の明るさ不足を感じるご意見がありました。 エントランス部分にスロープがないため、ベビーカーで来所された際に不便が生じていました。	パーティションの活用や運動・机上プログラムの交互実施など、工夫した環境構成をさらにブラッシュアップします。また、照明設備の調整や家具レイアウトの工夫により、明るく開放感のある空間をつくります。 ベビーカー等の来所時には、指導員がお出迎え・手伝いを行う配慮を継続・強化いたします。
2	保護者様との面談・フィードバック時におけるプライバシーへの配慮	他の保護者様が待機している場所の近くでフィードバックや個人に関わるお話をを行うことがあり、声が聞こえてしまうなどプライバシー配慮へのご指摘をいただきました。	込み入ったお話し合いや個人情報・悩みに関わるフィードバックを行う際は、必ず別室やパーティションで仕切られたプライベートな空間へ案内する運用手順へと刷新・徹底いたします。
3	ペアレント・トレーニング等の参加機会および保護者同士・地域の交流機会の不足	利用日以外の参加ハードルの高さや周知不足により、ペアレント・トレーニング等の開催・参加機会が十分に行き届いておりませんでした。 保護者会や父母の会、きょうだい向けイベント等の交流機会が少なく、保護者同士の悩み共有の場が限られていました。	お子様の利用時間中に保護者様が受講できる研修やオンライン等を活用した参加しやすいペアレント・トレーニングの実施を検討・企画いたします。 保護者様が気兼ねなく参加できる座談会や、きょうだい同士が交流できる機会の創出に取り組んでまいります。